

化学と工業

CHEMISTRY & CHEMICAL INDUSTRY

1

Vol.68-1
January 2015

引き継がれ、発展する

OVERVIEW 和食と科学の美味しい関係

特集

ついに発売! 燃料電池自動車の開発動向

巻頭言

「やせ我慢の美学」のすすめ

論説

医療分野に係る新たな研究開発体制の発足に向けて

論説

Successful learned society publishing

— the Royal Society of Chemistry strategy



日本化学会

<http://www.chemistry.or.jp>

松原立明（東京大学理学系研究科化学専攻 物理有機化学研究室）

私はポスター発表を行う際、「初学者にもわかるように簡潔に」を心掛けて発表を行っています。CSJ 化学フェスタは产学研連携かつ、多岐にわたる分野の方が参加されるので、上記のことを特に気をつけて発表したことが本受賞につながったのではないかと思います。私の経験ですが、研究の努力の結晶である発表の機会においては、ついつい自分が一番苦労した部分（多くの場合本質とはあまり関係ないこと）を事細かに説明してしまい、最終的に研究の本質が伝わっていないということがしばしばあります。それを避けるために私は、ポスターはできるだけ客観的に、研究の「背景と動機」、成功の「鍵」、研究の「成果」が論理的に一本の筋になるよう心掛けて作成しています。発表では様々な分野の方から、自分では思いもしなかった有益な質問・コメントをたくさんいただけましたので、参加してよかったです。



浅井光夫（東北大学多元物質科学研究所 生命機能制御物質化学研究分野）

CSJ 化学フェスタでは大学、そして企業の幅広い分野の研究者の方々が参加されると伺っておりまして、自分の研究の視野を大きく広げることができる最高の機会だと考え、参加させていただきました。その中で、このような栄誉ある賞をいただくことができて、大変光栄に思っております。

ポスター発表におきましては、専門の学会よりも一層、聞いてくださる方々に自分の研究をいかに理解しやすく、魅力的に、そして自信をもって伝えることが大切であると考えました。そのため先生、先輩方と多くのディスカッションを重ねることで自分の研究を見つめ直し、理解をより深めました。発表当日では、普段はできない多くの分野の方々と活発なディスカッションをすることができて、得るものが多い、非常に有意義な時間を過ごすことができました。



堤 優介（九州大学大学院工学研究院 化学システム工学専攻 中嶋研究室）

本フェスタでの発表準備に当たり、聞き手の理解を助けるイラストの作成に注力しました。また、発表の際には、専門分野外の方にも理解していただけるよう細かい説明はなるべく省き、重要なポイントを抽出して話すことを心掛けました。さらに、わかりにくい専門用語はより一般的な言葉に置き換えて発表することで、聞き手の理解が得られるよう工夫しました。本フェスタでは、様々な企画が催されており、異



分野の研究を勉強する非常に良い機会となりました。得られた知識は、今後の研究活動に役立たせていきたいと考えています。

次回、CSJ 化学フェスタに参加される学生の皆様も、異分野の方や企業の方と積極的に交流をもってみて下さい。研究を発展させるヒントや、異分野の方と親交をもつきっかけがきっと得られると思います。

鄭 進宇（東京大学工学系研究科応用化学専攻 水野研究室）

私は本年度の春より現研究グループに加わらせていただき、初めて触媒化学の研究に着手いたしました。私自身、より実学的な研究を行いたいという願望がありましたので、光触媒という研究テーマは非常に魅力的で、楽しく研究を進めることができました。今回このような賞をいただけたのは、私の思うこの研究の魅力を正確に伝え、共感を得ることができたからだと考えています。



本会では、他分野への思いもよらない応用や企業的視点からの実用化における課題など、今後研究に従事する上で非常に有意義なアイデアを多く得ることができました。これから社会の発展には、分野にとらわれない多面的な視点と確固たる専門性が重要だと思います。これからフェスタに参加する方々も様々な視点を吸収し、自分の研究を深めながら、化学の発展に寄与できるような人材になることを願っています。私自身も自分の研究の意義と向き合いながら研究に邁進していきたいと思います。

梶野しほり（東京理科大学大学院総合化学研究科 総合化学専攻 根岸研究室）

私がこの研究に携わってから今回発表させていただくに至るまで、多くの壁がありました。中でも、光触媒上へ粒子を担持させる際の新たな方法として、粒子の界面を制御する方法を見いだす過程には非常に苦労しました。しかし、多くの方とディスカッションをさせていただいたことで知見が深まり、この壁を乗り越えることができたと考えています。



CSJ 化学フェスタは様々な分野の方が参加すること伺っていましたので、当日は専門外の方にも理解していただきやすい発表にこだわりました。特に本フェスタでは産業界とアカデミア、両分野の方々が参加されていましたので、大変貴重な議論をさせていただくことができました。異分野の方と意見を交換しながら交流できたことは良い機会となりました。今回の経験を糧にして、今後もより一層研究に励んでいきたいと思います。

（謝辞については割愛しています。）